

日 時： 2017年（平成29年）2月12日（日曜日） 礼拝終了後（研修室Bにて）

出席者： 23名

議 長： 川津泰人

1. 開会のお祈り（大竹隊長）

2. 昨年度の活動報告・聖歌隊の活動内容の説明（企画：内田恵美子）

- ◆ 臨床学術センター落成式
- ◆ 春合宿： 静岡聖ペテロ教会（日曜礼拝 23名）
- ◆ 夏合宿： 軽井沢（コンサート 24名）
- ◆ 他教区訪問： なし（先方の都合により中止）
- ◆ レクイエム：ケルビーニ、 終了後イタリアンで食事会
- ◆ マリンバとのミニコンサート
- ◆ 職員クリスマス礼拝

*クリスマス礼拝：3:30pmからのチャンセルでの奉唱中に一般会衆が聖歌隊席に入り着席してしまった
→今年は聖歌隊席の確保が課題（一般立入り禁止とわかるように事前手配）

3. 昨年度の活動報告・礼拝委員から（代読：川津）

配布書類：①礼拝委員からの報告事項

- ◆ 訂正：現在の隊員数の内訳
ソプラノ 11、アルト 7、テナー 3、ベース 5（総数 26名、変更なし）
堅信：譚
入隊：荒川、内海、譚
退隊：関

4. 今年度の奉唱アンセムについて（大竹隊長）

配布書類： アンセム予定表（2017年）

- ◆ 教会歴に合わせた選曲
- ◆ 全 23 曲。今年は奉唱日が多い→予定表も 2 枚になった
（イースターとペンテコステ(Whitsunday)が第 2・第 4 以外の日曜日なので）
- ◆ 新曲は 2 曲：2/12「How brightly beams the morning star!」スウェーリンク作曲
9/10「Ave verum corpus」ピアサル作曲
- ◆ 今年は 12/24 が日曜日→朝の礼拝から深夜まで一日奉唱が続くので、今から体力を蓄えておいてください。
- ◆ もう少し念入りに練習をしようと思っているので、よろしくお願ひ致します。

5. 本年度の活動（大竹隊長）

- ◆ 5月20～21日：春合宿（中部教区・岡谷聖バルナバ教会、市原信太郎司祭）←他教区訪問
- ◆ 8月25～28日：夏合宿（中部教区・軽井沢ショー記念礼拝堂）
※毎年、8月第4日曜日に礼拝奉仕、8/24から宿泊可能
- ◆ 9月17日：東京教区・他教会訪問（多摩・聖パトリック教会）
- ◆ 11月2日：レクイエム奉唱（今年はブラームスの予定だが他の曲も考えている）
- ◆ 12月10日：聖歌隊とマリンバのミニコンサート
- ◆ 12月（日にち未定）：職員クリスマス礼拝
- ◆ 12月24日：10:30～主日礼拝奉仕、クリスマス礼拝 16:00・19:00・22:30、（キャロル奉唱 15:30～）。

6. 今年度委員の信任（満場一致で可決）

隊長 大竹惟司
企画 内田恵美子
財務 内田研吾
礼拝 大西信一
記録 本多麻耶子
運営 齊藤とも子
会計監査 川津泰人

7. 各委員からの報告・今年度の活動の説明

①財務委員（内田研吾）

資料配布：2016年度決算書

→昨年度収支報告は監査承認済み

補足説明：一般会計・収入「チャペル立替金」は、ケビンの交通費（軽井沢合宿）→聖歌隊で払う

②企画（内田恵美子）

資料配布：①「企画係り」（合宿と他教会訪問の説明）

② 聖路加礼拝堂聖歌隊 活動記録（他教区・他教会訪問の訪問リスト）

春合宿に初めて参加する方が2名いるので、企画関連の活動について説明します。

- ◆ 春＝『ミニ合宿』 時期は大体5月
他の教区*を訪問して、礼拝奉仕とミニコンサートを行う。 *聖公会は日本に11教区ある
練習時間は短め。観光等、隊員同士の交流を深める。
- ◆ 夏＝『軽井沢』 8月第4日曜日、ショー記念礼拝堂。（礼拝奉仕・ミニコンサート）
毎年、金曜日の朝から、歌の練習を中心に。
宿泊は聖路加ハウス、今年もリトリートセンターを使う（昨年同様）
- ◆ 秋＝『他教会訪問』 東京教区内の教会を訪問（日帰り）
今年は多摩・聖パトリック教会（南武線・西国立駅）。
日にちは9/17を予定、先方の教会委員会後に正式決定。
（教区フェスティバルが9月第3日曜日にある。今年は9/17。）

*意見・提案：他教会訪問は東京教区のみか？

他教区でも千葉・神奈川等、近場で行きやすい所を訪問してはどうか？

→検討事項にしましょう。

◆ 今年のミニ合宿について

岡谷聖バルナバ教会

市原信太郎司祭。元・立教大学のチャプレン、東京在住。第3日曜日は岡谷で奉仕している。

宿泊：上諏訪の「ホテル紅や」。カラオケルームで練習（3～4時、ピアノなし）。

*費用の個人負担は15,000円までに抑えている。超過分は、隊費から支出している。

*式服のリボンの洗濯：隊員で分担して洗濯。協力よろしくをお願いします。

③礼拝委員（大西信一、代理：川津）

配布書類：①礼拝委員からの報告事項、②2017年(平成29年)練習日程、③配布済み楽譜一覧

- ◆ 今年主日礼拝が25回ある。
- ◆ 名簿の確認（回覧）

④記録委員（本多）

- ◆ 礼拝と練習の出欠を記録。それぞれ50%以上の出席が必要
出席率50%以下の場合警告 → 今年は全員セーフ
- ◆ 欠席時の連絡方法：
 - ・わかった時点で大西信一または本多麻耶子にメール連絡する
 - ・当日の欠席は 本多(mayamaya329@icloud.com)の携帯メールに連絡。遅刻も！
 - ・早退も連絡が欲しい。少なくとも隊長に申告する
- ◆ 礼拝開始時に着席していれば出席としてみなすが、できるだけ朝の練習から出席してほしい
- ◆ アンセムまでには必ず着席するように。
ただし電車その他やむを得ない理由は隊長の判断にお任せします・

⑤運営（斉藤）

各委員のもとで一緒に仕事をしているので、何かあれば、おっしゃってください。

⑥その他

A. キャソック等について（大竹ひろ子）

配布資料：キャソック等の取り扱いについて

- ◆ 夏用キャソックは、大八木さん(元隊員)がボランティアで縫ってくださったが、実費(材料費)と謝礼をお渡しした。→決算書の一般会計の支出を参照。
- ◆ 夏用・冬用の両方をロッカーに収納できるように、ハンガーを購入した。
ハンガーに掛けるネーム札の番号の説明
 - 1・2 キャソック・サープリス
 - 3・4 夏用ジレ・スカート
- ◆ ジレーとスカートについて
 - ・きちんと洗濯はしましょう。←個人の持ち物ではなく、退隊後は他の方が使うので！
 - ・補修をする場合は、持ち帰りも可。補修後は必ずロッカーに戻すこと。
- ◆ ・ロッカーには私物を置かないこと

B.結婚式について（本多）

- ◆ デューティではないが、1回につき1万円をもらっており、クワイアーの収入源となっている。具体的には、合宿費の補助・予備費として使っている。
（教会から聖歌隊への資金的な補助はない。）
- ◆ 聖歌隊に参加してもらえると声が大きくてすごく良いので、参加者数に波があるのは仕方ないが、なるべく参加をお願いしたい。
2曲で40分位の拘束となるのは大変だが、謝礼が聖歌隊の経費として使えるのでぜひご協力お願いします。

8. 聖歌隊への提言・希望

大西信一 別紙参照（代読：川津）

田邊 大竹さんからのご注意（強弱・歌い出し）や言葉の内容をよく理解して歌うこと。ハーモニーは他の人の音をよく聞いて、音楽づくりをやってほしいと思う。

ニルソン 音楽的には、アルトになって1年半経って慣れてきた。自分の課題は、最初の音がしっかりとれないことと、音を見失うと戻れないこと。今年は何とかしたい。勇気を出して「出来ない」と言おうと思う。個人的には、聖職を目指します。洗礼を受けてから1年半経ってないのですが。聖歌隊の皆さまへのお願いは、聖歌隊は自分のホームなので、ルカでの見守りの前に自分のことを知っていただきたい。見守りから早く1年後、になります。もし聖歌隊の中でのご支援がなければ、この先の道は閉ざされているのであろうと思う。

望月 礼拝中の所作をそろえたい。十字を切る・礼をする等。聖歌隊席で、そして特に、聖歌隊席を離れた時に。主のみ名によって、etc. →そろえなくてよいのではという意見もあり

田島 歌い出しの音が取れてない。3回も音取したのに。各個人それぞれが持っている音の違いが出てしまっている。気を付けてそろえていきたい

譚 去年から聖歌隊に参加。聖歌隊は歌が上手。管理もプロ、すごくいい。上海の聖歌隊と比べても、とてもいい。今年の自分の目標は、日本語をよく勉強して、歌詞をよく理解したい。

遠藤 去年と同じ、今年も、一曲一曲丁寧に、全身全霊で歌いたい

柳原 自分の課題しかないですが、同じ響きの所で歌うということはわかるけれど、がんばると難しい。特に斉藤さんがお休みの時は、つい頑張ってしまった。

高谷 去年は体調が悪く、入院した。今年体調管理して励みたい

- 本多
- ・ 聖歌隊席は目立つので、おしゃべり等を慎まなくてはいけない。礼拝中に祈祷書を集めるのも、動きがざわざわして目立つので、気をつけたい。
 - ・ 会衆との交流が少ない。聖歌隊席に上がっているの、地理的にも離れている。
 - ・ デューティ以外の時も礼拝に出ましょう。お茶の時も聖歌隊で固まらずに、みなと話す機会をもちたいと思います。

大竹隊長 練習の都度、申し上げることがありましたら、よろしくお願ひします。（音楽的な注意など）

- 川津 ・入院中の3週間に、5階と6階の病棟に入り、看護師さんとお話しして、「(聖歌隊に歌ってもらって)結婚式は良かった」という言葉ももらう。
- ・看護師さん達は亡くなった患者さんに対してどう向かえばいいのかとモヤモヤしていると聞いたので、「レクイエムで死者の為に祈っている」と言うと、「知りませんでした」とのこと。どうすればいいのかと、看護師の橋本さん(元聖歌隊員)に相談したところ、レクイエムについて、看護大キリスト教センターから一斉配信で告知したらどうか。そして、奉唱に参加は無理としても、聴きに来るだけでもだいぶ違うのでは。そういう機会があれば、病院と聖歌隊は一体感がより高まるのではないか。夜勤の人は参加できないが、外来や事務員は参加できるのでは?等、アドバイスを受け橋本さんとはぶっちゃけて話した。一般的な看護師さんと話したところ数人が関心を示していた。
 - ・中間的な総会(ミニ総会)をやってはどうか。総会からの変更点を話し合ったり、等。
- 斉藤 ・男声が充実してうれしく思っています。今年は、女声はレベルアップをしなければと思っている。
- ・頭の中で考えているピッチが、みんなそれぞれ違う。お互い聴きあって、与えあって 声をそろえることができれば、と思います。
 - ・第2・第4日曜日の聖歌隊奉仕以外の礼拝にぜひ出ていただきたい。他教会訪問の際、祈祷書でまごまごしているのは恥ずかしい。聖歌隊席にいると下で何をやっているかわからないので、ぜひ参加してほしい。
- 加藤 ・昨年亡くなられた関敦子さんが仰っていたこと： 隊長が元気で・私も元気で無事に奉仕をしたいのと、聖歌隊なので、聖歌をきちんと、言葉も音程も。歌えた気になっていても微妙にちがってもハーモニーに影響するので、丁寧に歌っていききたい。
- ・歌い慣れた曲でも、新鮮な気持ちで音楽に向き合って、より良く歌えるように、そして深めてゆきたい。
- 内田研吾 現状維持でOK。第1・3・5の日曜礼拝に来られたらいいのでは。
- 内田恵美子 ・9~12月は体調が悪く、聖歌隊を休んでいました、年明けて体調が戻ったので、今年もよろしくをお願いします。
- ・ソプラノは耳でメロディーを覚えられるが、アルトはそれができない。荒川さんのデータを元に予習しています。
- 大竹ひろ子 ピッチの取り方。隊長がとってくれた音を、ちゃんと出して確認して、それから歌い出すとよいのでは。今日のアンセムは気持ちよく歌えたが、シェーラーさんが仰ったように、教会の中のアーチを思い浮かべながら歌うと(気持ちの持ち方で)、もっとうまく歌えるのではと思いついて歌ってました。
- 田代 アンセム・聖歌とも、言葉を大事にしながら、声を合わせて歌いたい。
- 今井 ・総会に初めて参加。二足の草鞋というわけではなく。つながりに感謝。
- ・時々感じるのは、練習していると大竹さんが一人で寂しい。曲がわかっていると、楽譜を見て、耳で聞いて歌っている(指揮を見ていない)。音楽は、本当は指揮で動かしているはずなのに。少なくとも2割は指揮者を見て歌いましょう。
- 間庭 その日によって、ソプラノまたはアルトが少ない日があるので、聖歌ならアルトを初見で歌えるのはいかがでしょうか。アンセムは難しいけれど
- 隊長:(パートは)やはり一定にしたいが、お願いすることもあるかも。

浅川 ・変形性股関節症で、長時間立っているのがつらい。昨年のクリスマス・イブのキャロルは、初めて祭壇で歌うことになり、自信がなかった。膝が硬直して歩き出すのがやっとだった。今年はキャロルを歌うのは失礼して、聖歌隊席で待たせて頂こうと思う。春・夏合宿も休んでいて恐縮ですが、聖歌隊の一員として、できるだけ奉仕できればと思います。

- ・本多さんが伴奏に行くと、アルトが少なくなる、ホームページ等でアルトを募集してはどうか。バランスよく歌えるのが理想なので。

金澤 提案：チャペル80周年記念誌を編纂しながら思ったのですが、大西さんが聖歌隊の歴史を聖歌隊のホームページに書いているが、きちんと歴史的なものを準備したらどうか。(文集でなく)

荒川 ・礼拝は、日本語で書いてあってもわからない。理解力が足りないので、キリスト教の勉強をして理解を深めたい。

- ・春の合宿（5月第3日曜日）は三社祭のため、参加できず申しわけありません。

内海 ・教会のルールがよくわからない。礼拝堂で拍手してはいけない、とか。

- ・キャロリングは、病室で立ち止まって、きちっと歌えたらと思う。聖歌隊としてきちっと歌えたらいいなと思う。そうでないと、もったいない。

→ 大竹隊長より：

- ・全節を立ち止まって歌えないのは、時間がないから。
- ・曲数：一般の参加者が歌えないので、3曲だけ歌うことに（きよしこの夜・もろ人こぞりて・と、もう一曲）。キャロリングの目的は「がんばってね（患者さんに対して）」。曲を考えながら・楽譜を読みながらじゃなくて、一般の人でもさっと歌えるようにしていこうと思う。同じフロア内を3曲繰り返し歌ってもOK。

上田チャプレン ・いつもありがとうございます。感謝と賛美は私たちの務めです。聖歌隊が賛美を歌うことを使命にがんばって歌ってくださっているのは、聖歌隊の本質的な仕事だと思っている。賛美するって、何かな？ 歌う前の状態、何が歌になって出てくるのか、なぜ歌いたいかに関がっていると思う。日常生活の中で賛美したくなる状態というのは、「おー、これはすごい」と心を動かされることに繋がっているような気がします。

- ・聖歌隊へのお願いしたいこと：技術的なことはみなさんが言うてくださっているので、チャプレンとしてお願いするのは、心動かされるようなものに触れる機会を増やしていただき、賛美するものを見つけ、意識的にそういう機会をつくっていただくといいかなーと思います。
- ・忙しいと心が硬直化します。心を柔らかくして、「すごいなー」と今ここにいることに感謝する、感嘆する。そういうことを意識的に探していただけたらと思います。

- ・主の祈り

9. 閉会のお祈り（大竹隊長）
